

自民党農林水産業 農林水産業成長骨太P Tの概要

1. 日時:平成28年5月27日(金)8:00~9:30
2. 場所:自民党本部 701会議室
3. 会議の概要(農業資材価格関係のみ記述)

冒頭、小泉委員長からは、

全国調査実施についての感謝の言葉とともに、今回JA系統は、100%近い回答状況があるが、商系は低い状況にある。こうした段階での価格公表は公平に欠けるので価格公表は見合わせた。今後、何らかのタイミングで公表したい旨の発言。

委員長から続いて、全農に対して

- ① 価格調査結果をどのような条件であれば公表できるのかを提案。
- ② JAグループで調査結果を分析し、その結果を報告。
- ③ 生産者に安く資材を提供する方法を考えること。

以上、3点の宿題が出された。

役所に対しては、商系への調査協力の働きかけを行い、JA系統に商系も巻き込んだ形で「見える化」の検討が指示された。

以降、参席のメンバー(議員)からは下記の様な発言あり、

- ・価格だけでなく付随するサービスも比較すること、
- ・資材を安くすると、農産物の買ったときの危惧もあること、
- ・価格公表時には悪意のある農協叩きにつながらないように留意すること、
- ・農家の混乱を回避すること、

等々の発言がみられました。

(文責:田中)